未来を担う子どもたちが財政を考える！

財政教育プログラム

財務省
Ministry of Finance, JAPAN

財務局
Local Finance Bureaus

難しそうに見える日本の財政に興味を持つきっかけとなる授業です。

プログラムの特徴

アクティブ・ラーニングの導入

日本の将来について考えることをテーマとしたグループワークを取り入れています。
自身の描く未来やその実現に向けた課題、課題解決のための手段など、子どもたちが意見を出し合いながら議論を行うことにより、主体的・対話的で深い学びを促します。

財務省・財務局職員との交流

当日は、講師役に加え、グループワークの補助を務めるアドバイザーを派遣します。
アドバイザーは、子どもたちからの質問に答え、時には意見を引き出す疑問を投げかけるなど、活発な議論の手助けを行い、子どもたちとの積極的な交流を図ります。

タブレット端末等ICT機器の活用

グループワークでは、タブレット端末等のICT機器を積極的に活用します。
使用する予算編成シミュレーションツールは、各予算項目を増減させるとグラフが変化する仕組みとなっており、視覚的に楽しみながら取り組むことができます。

学校と財務省との協働（指導案作成、事前学習等）

指導案作成の段階から先生方と職員で綿密に連携し、学校と財務省・財務局が協働しながら１つのプログラムを作り上げていきます。プログラムの内容は、先生方の要望などに応じて、様々な形にカスタマイズすることも可能です。

授業を通じて、子どもたちの意識も高まっています。

プログラムの効果

- 日本の財政に興味を持つことができる。
- 社会問題を自分事として捉えることができるようになる。
- 受益と負担の両面性（トレード・オフ）の理解を深め、多面的な見方を可能にする。
- 多様な意見を集約するには、民主主義的過程が重要であると認識できる。

小学生

2．日本を良くしていくために、予算について今後どうすればいいと思いますか。

日本の今の課題と日本の未来というのをうまくかけあわせて、考えることが大事だと思いました。歳入と歳出のバランスをうまく考えて、何を増やせばいいのか、そして、何を減らせばいいのかというのを、理由も考えた上で、判断しないといけないと思いました。

中学生

3．この授業で、勉強になったことはどんなことですか。

私たちにとっての理想と、大人や老人の人の理想は全然違っていて、それを全て叶えるような予算はつくるのが難しいということ。

高校生

2．この授業で、あなたは何を学び、どのような力が身についたと感じ考えますか？（具体的に記述する）

この授業を受けてから、ニュースを見ることが楽しくなった。授業での議論や、目標を達成するための方法を考えたことがとても楽しくて、今までは、めんどくさいと思って見ていた、いろいろな社会問題に対して、こんなことをしたら解決できるんじゃないだろうかなどと、プラスの方向に考えるようになった。自分が今までもっていなかった新しい考え方を得ることができたのではないかと感じている。

プログラムの基本構成

事前学習

子どもたちの理解を深めるため、可能な範囲で先生方による事前学習の実施をお願いしています。事前学習の時間を確保できない際は、職員の講義でフォローを行いますので、心配ありません。

45min

プログラム当日

職員の講義

職員が財政に関する講義を行います。子どもたちに身近な「公共サービス」や「公共施設」を入口にして、クイズを取り入れながら説明します。

1

クイズ

（身近な公共サービスに関して：救急車）

救急車を一回呼ぶのに
実際かかっている費用は？（日本で）

① 10,000 円　② 20,000 円
③ 30,000 円　④ 40,000 円

30min

グループワーク

各グループでタブレット端末等を使用し、
子どもたち同士で意見を出し合い、
予算案を編成してもらいます。
ワーク中は、アドバイザー役の職員が
質問対応やアドバイスを行います。

2

30min

発表

各グループごとに予算案を発表してもらいます。
発表後には他グループからの質問時間を設けており、
発表グループは財務大臣になったつもりで答弁を行います。
授業中で最も盛り上がるパートです。

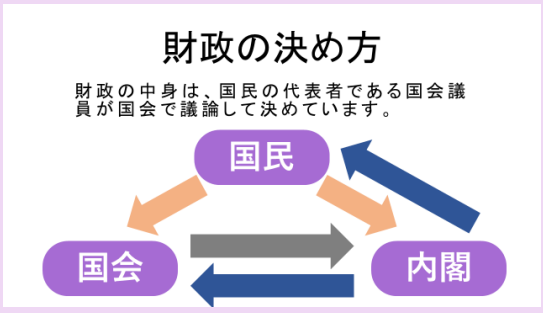
3

25min

しめくくり

職員による講評を行った後、
最後は参政権について触れ、
将来の主権者の一員としての
自覚を促します。

4



5min

※ 2時限を使う場合の一例

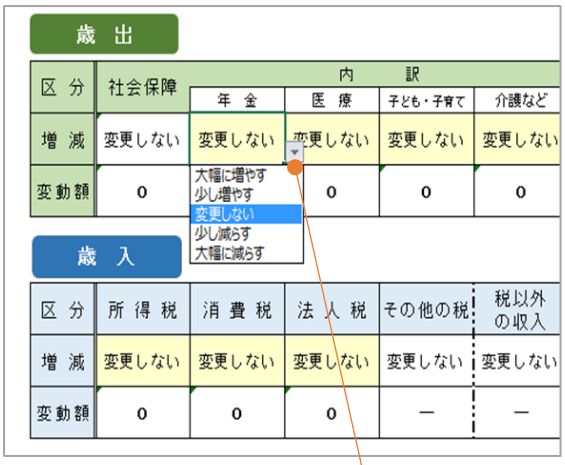
授業内容のご紹介

日本村の予算を作ろう！

**もし、日本が100人の村で100万円の予算だったら？というシミュレーション。
どのような予算にすれば、村の未来が良くなるかを考えてもらいます。**

使用教材

予算編成シミュレーションツール（Excel）／グループワークシート

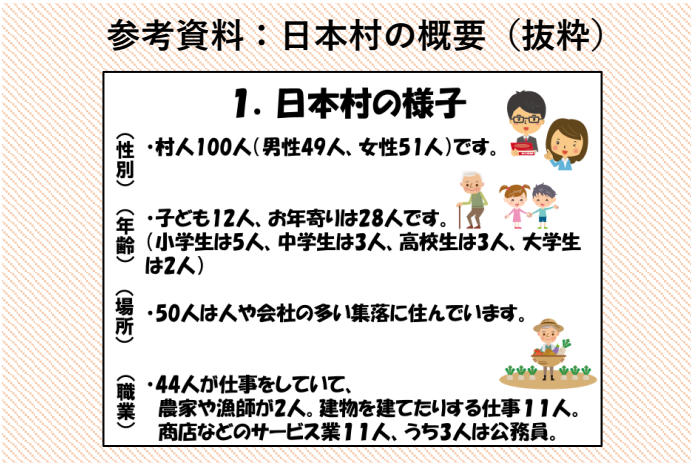


歳　出

区　分	社会保障	内　訳			
		年　金	医　療	子ども・子育て	介護など
増　減	変更しない	変更しない	変更しない	変更しない	変更しない
変動額	0	大幅に増やす 少し増やす 変更しない 少し減らす 大幅に減らす	0	0	0

歳　入

区　分	所得税	消費税	法人税	その他の税	税以外の収入
増　減	変更しない	変更しない	変更しない	変更しない	変更しない
変動額	0	0	0	―	―



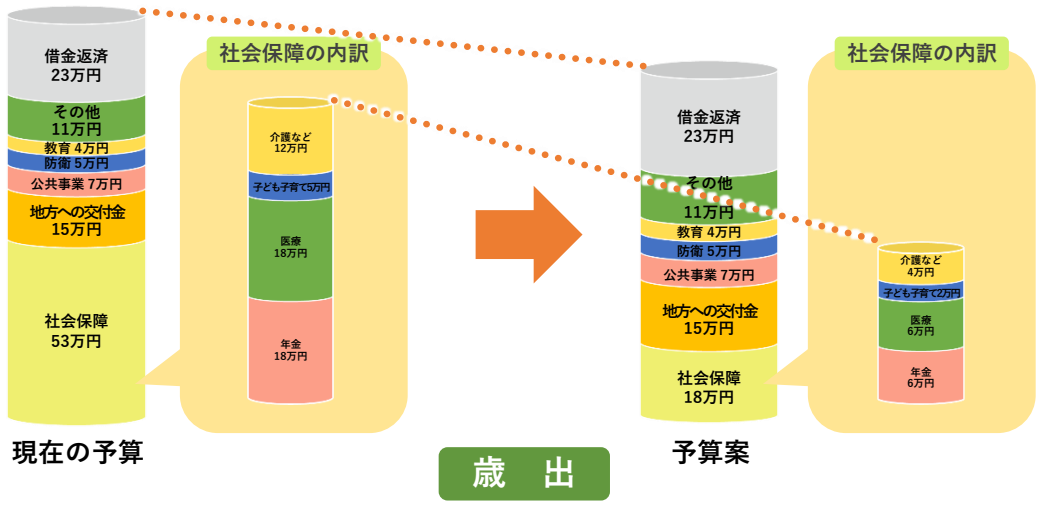
歳出・歳入の各項目をどのように増減させるかをリストから選択します。

選択肢

- **増額・減額**
  増減率を　大幅に増やす、少し増やす、大幅に減らす、少し減らすから選択
- **変更しない**

増減によって、自動でグラフも変化します

タブレット画面



グループワークの内容

1．日本村の方針を決定

未来の日本村をどのような社会にしたいかを話し合い、村の方針を決定します。
（テーマ例：高齢者に優しい社会、誰もが充実した教育を無償で受けられる社会 etc）

2．予算案を編成

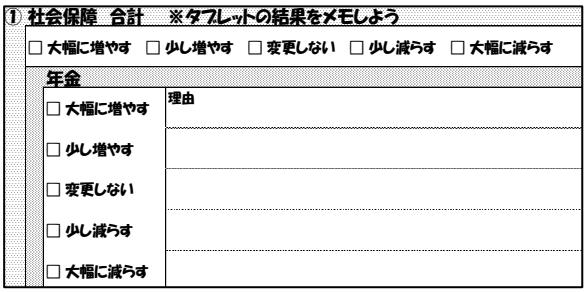
決定した方針に沿って、歳出・歳入の各項目をどのように増減させるか議論を行いながら、予算編成シミュレーションツールに入力していきます。

予算の増減を検討する項目

▶ 歳　出
- 社会保障
- 地方への交付金
- 公共事業
- 防　衛
- 教　育

▶ 歳　入
- 所得税
- 消費税
- 法人税

その項目を増減させる理由まで考えながら、グループワークシートに書き込んでいきます。



① 社会保障　合計　※タブレットの結果をメモしよう

□ 大幅に増やす　□ 少し増やす　□ 変更しない　□ 少し減らす　□ 大幅に減らす

年金

	理由
□ 大幅に増やす	
□ 少し増やす	
□ 変更しない	
□ 少し減らす	
□ 大幅に減らす	

（グループワークシート抜粋）

POINT

グループ内の議論を通じて、
受益と負担の両面性（トレード・オフ）の理解を深めてもらいます。
また、多様な意見を集約することの難しさを実感してもらい、
民主主義の過程が重要であることを認識してもらいます。

3．予算案の発表

各グループから予算案とアピールポイントを発表してもらいます。発表後には質問時間を設け、発表者グループと他の子どもたちによる質疑応答を行います。

POINT

質疑応答を通じて、予算案に反対意見や疑問を持った人たちに
納得してもらえるように説明することの難しさや、
多面的な見方が重要であることを感じてもらいます。

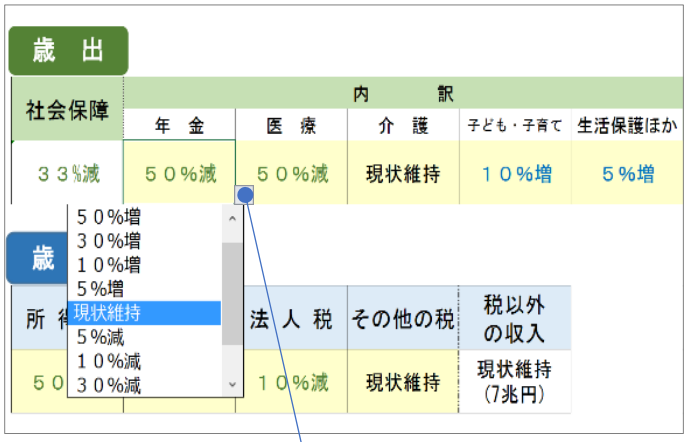
授業内容のご紹介

財務大臣になって予算を作ろう！

子どもたちが財務大臣になって、日本の未来を考えるシミュレーション。
日本をどんな国にしたいか考えながら、グループで予算案を作ってもらいます。

使用教材

予算編成シミュレーションツール（Excel）／グループワークシート



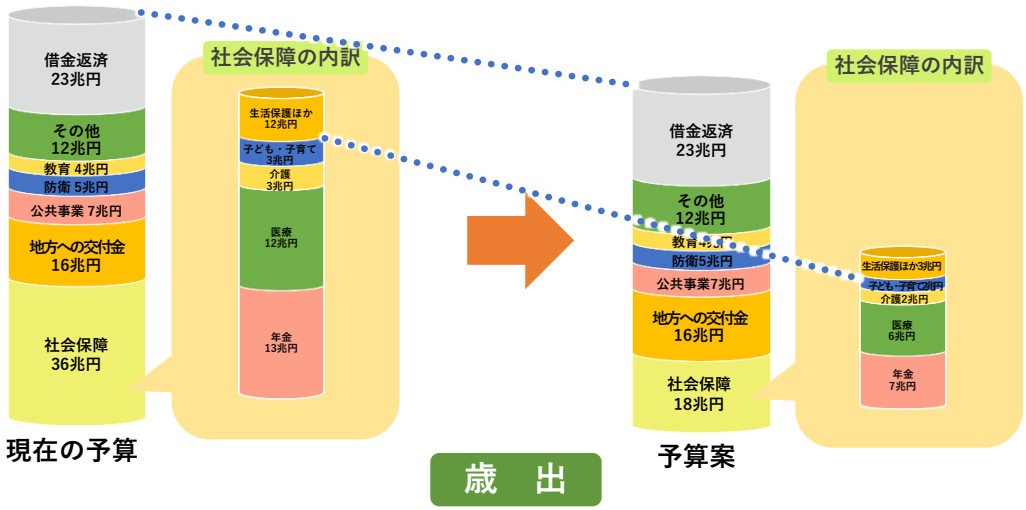
歳出・歳入の各項目をどのように増減させるかをリストから選択します。

選択肢

- **増額・減額**
  増減率を　100%、50%、30%、10%、5%　から選択
- **現状維持**

増減によって、自動でグラフも変化します

タブレット画面



グループワークの内容

1．予算案のテーマを決定

未来の日本をどのような社会にしたいかを話し合い、予算案のテーマを決定します。
（テーマ例：高齢者に優しい社会、誰もが充実した教育を無償で受けられる社会 etc）

2．国の予算案を編成

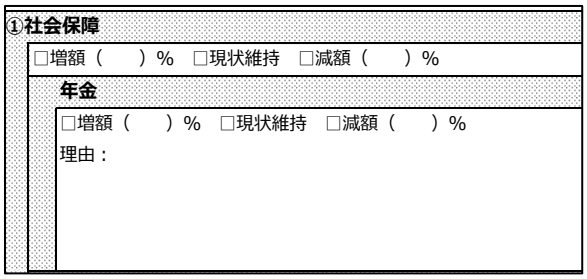
決定したテーマに沿って、歳出・歳入の各項目をどのように増減させるか議論を行いながら、予算編成シミュレーションツールに入力していきます。

予算の増減を検討する項目

▶ 歳　出
- 社会保障
- 公共事業
- 教　育
- 地方への交付金
- 防　衛
- その他（科学技術など）

▶ 歳　入
- 所得税
- 法人税
- 消費税
- その他（酒・たばこ税など）

その項目を増減させる理由まで考えながら、グループワークシートに書き込んでいきます。



（グループワークシート抜粋）

POINT

グループ内の議論を通じて、
受益と負担の両面性（トレード・オフ）の理解を深めてもらいます。
また、多様な意見を集約することの難しさを実感してもらい、
民主主義の過程が重要であることを認識してもらいます。

3．予算案の発表

各グループから予算案とアピールポイントを発表してもらいます。発表後には質問時間を設け、発表者グループと他の子どもたちによる質疑応答を行います。

POINT

質疑応答を通じて、予算案に反対意見や疑問を持った人たちに
納得してもらえるように説明することの難しさや、
多面的な見方が重要であることを感じてもらいます。

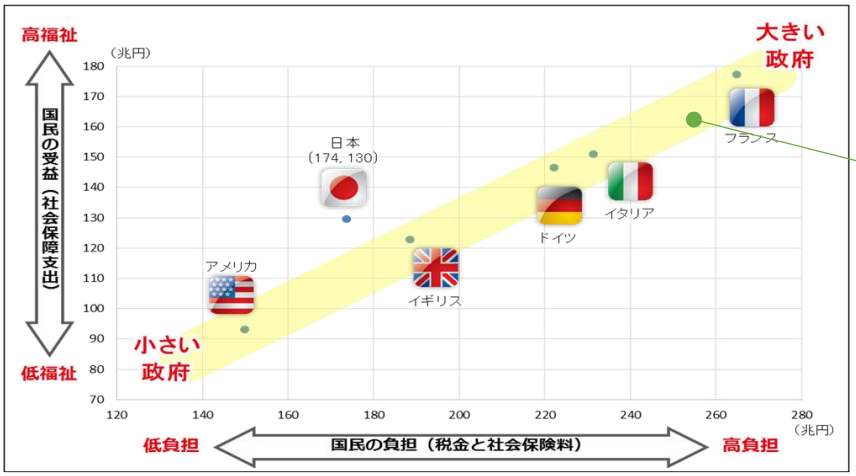
授業内容のご紹介

社会保障改革プランに挑戦！

日本の社会保障制度は、受益と負担の水準がつり合っていない状態です。
より良い未来の実現に向けてどのような改革が必要かを考えてもらいます。

テーマとなる資料

主な国の受益（社会保障支出）と負担（国民の負担額）のバランス図



黄色部分が受益と負担のバランスが取れている位置

＜改革プランシート例＞

例：改革プランA

改革のテーマ

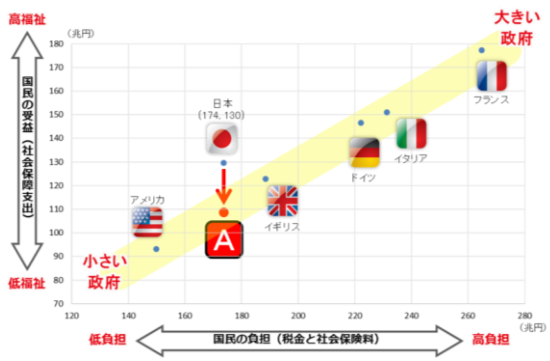
高所得者への年金給付を廃止し、
将来世代への負担の先送りをストップします。

縦軸の「国民の受益」を（上 ~~下~~）に（20）兆円移動

＜改革の内容＞
・高齢者への年金給付額を50兆円から30兆円へ、40%カットします。
・その際、低所得者への給付は維持して、
高所得者への給付を廃止します。

横軸の「国民の負担」を（~~右~~ 左）に（0）兆円移動

＜改革の内容＞
・国民への負担を増やすことは難しいので、
国民の負担額は変えません。



例：改革プランB

改革のテーマ

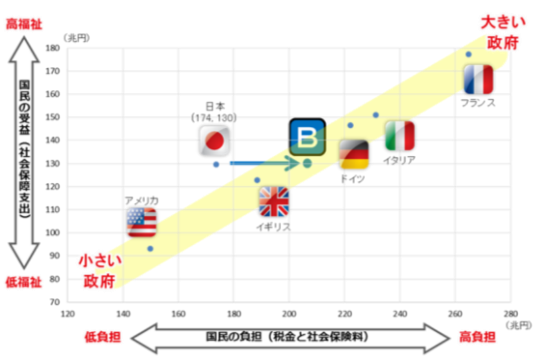
法人税率を引き上げ、
支出に見合った収入が得られる大きい政府にします。

縦軸の「国民の受益」を（~~上~~ 下）に（0）兆円移動

＜改革の内容＞
・政府の社会保障支出額は変えません。

横軸の「国民の負担」を（右 ~~左~~）に（30）兆円移動

＜改革の内容＞
・国民に負担してもらうことはできないので、
会社の法人税率を2.5倍の7.5%にし、法人税収を20兆円から
50兆円にします。



グループワークの内容

1．改革のテーマを策定

どのような社会を目指すか、そのためにはどのような改革が必要か。
「未来の社会」への意見を出し合い、改革のテーマを策定します。

2．具体的な改革の検討

具体的な改革プランを検討し、改革の実行による増加額・削減額を考えます。
最終的にバランス図上でどこに移動させるかを決定します。

主な検討項目の何をいくら増減させるかを具体的に検討し、
受益と負担をどれくらい移動させるかを改革プランシートに書き込む。

受益の主な検討項目

- 年金
- 医療
- 介護
- 子育て支援
- その他
  （生活保護、雇用支援など）

負担の主な検討項目

- 所得税
- 法人税
- 消費税
- その他
  （ガソリン税、たばこ税など）

（改革プランシート抜粋）

縦軸の「国民の受益（社会保障支出）」を
（　上　・　下　）に（　　）兆円移動

横軸の「国民の負担（税金と社会保険料）」を
（　右　・　左　）に（　　）兆円移動

POINT

グループ内の議論を通じて、
多様な意見を集約することの難しさを実感してもらい、
民主主義の過程が重要であることを認識してもらいます。

3．改革プランの発表

各グループがバランス図上に改革後の日本の位置を示し、改革プランの発表を行います。発表後には質問時間を設け、発表者グループと他の子どもたちによる質疑応答を行います。

POINT

質疑応答を通じて、改革内容に反対意見や疑問を持った人たちに
納得してもらえるように説明することの難しさや、
多面的な見方が重要であることを感じてもらいます。

先生方の感想

意外と質問、反論が多く、こんなに子どもたちが発言するとは思っていなかった。**嬉しい誤算。**

（小学校教諭）

将来の進路として、大学の法文学部や経済学部を志望する生徒も多く、昨年のプログラム実施後、財政に興味を持ちキャリア（職業）研究する生徒も現れた。

（高校教諭）

職員が回ってアドバイスなどのサポートをしてくれたおかげで、普段は消極的な生徒も意欲的に個人ワークに取り組んでいたし、グループワークでは活発に話ができていた。

（中学校教諭）

ただの紙でやっていただけではうまくシミュレーションできないと思うので、**タブレットはツールとして非常に有効**であったと思う。

（小学校教諭）

生徒のグループワークについて、**我々もこういう授業がしたい**と考えており、本当に参考になった。ICTの環境がなくてもこのような話し合いができるように対応していきたいと思った。

（高校教諭）

「財政」未学習の２年生における**主権者教育**の位置づけとして十分な教育的効果があった。

（中学校教諭）

財政や予算のように**答えのないシミュレーション**は、今の子どもたちにとってすごく大事なことだと思う。

（小学校教諭）

使用したシミュレーションツールは、グラフが即時に反映され、生徒たちに**視覚的にわかりやすく**作られていて感心した。

（中学校教諭）

生徒たちは来年度から選挙権を持つ者も出てくるので、**自分達の１票**は大切なのだということを前もって知ることができて勉強になったと思う。

（高校教諭）

本プログラムには、先生のみで実施できる動画教材もございます。
プログラム実施のご相談は、近畿財務局までお気軽にお問い合わせください。

財務省 近畿財務局 総務部 財務広報相談室

TEL：06-6949-6355［月～金　9:00-17:45］
Mail : kinkizaimu@kk.lfb-mof.go.jp
近畿財務局HP：
https://lfb.mof.go.jp/kinki/212_00002.html

財政関係パンフレット・教材